





定期・任意予防接種スケジュール

ワクチン	種類	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小学校 就学 前年度	7歳	8歳	9歳	11歳	小学校 6年生	12歳	13歳	14歳	高校 1年生 相当	20歳 未満													
		ロタウイルス ロタリックス (2回接種)	経口 生	①	②	出生6週0日から24週0日後までに2回接種 (当院では生後2か月から出生14週6日後までに1回目を接種して)																																		
B型肝炎	不活化	①	②	1回目から20週(139日)以上空けて3回目を接種																																				
ヒブ ※1	不活化	①	②	③	初回接種(1~3回目)終了後から7か月以上空けて接種																																			
小児用肺炎球菌 ※1	不活化	①	②	③	初回接種(1~3回目)終了後から60日以上空けてかつ1歳になって以降に接種																																			
五種混合 (DPT-IPV-Hib) 四種混合 (DPT-IPV) 三種混合 (DPT)・ポリオ ※2	不活化	①	②	③	初回接種(1~3回目)終了後から6か月以上空けて接種																																			
BCG	注射 生	①																																						
麻しん風しん混合 (MR)	注射 生	①											②	1回目から3か月以上空けて2回目を接種 2期は小学校就学前年度(幼稚園年長相当)の4月1日~翌3月31日までの間に接種																										
水痘 (水ぼうそう)	注射 生	①											②	4回目(2期)は9歳以上13歳未満で1回接種																										
日本脳炎	不活化	①											②	③	④																									
二種混合 (DT)	不活化	①											2回目と1期追加 (3回目) の間は6か月以上空ける											①	11歳~13歳未満で1回接種															
子宮頸がん 予防(HPV) シカ"ト"(9価) 対象者:女子	不活化	小学6年~15歳未満でシルガード1回目を接種した場合、1回目から5か月以上の間隔を置いて1回(1回目から1年以上5月未満で接種した場合は、ガーダシルと同じ合計3回接種になる) ※1回目接種時に15歳以上の場合は、計3回接種となる																																						
任意 予 防 接 種	注射 生	①											②	就学前児の百日咳抗体価が低下していることを受け、就学前の追加接種として接種																										
3種混合	不活化	①											②	百日咳の予防を目的に、2種混合の代わりに3種混合ワクチンを接種してもよ																										

(※1) ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種方法は、初回接種の開始月例によって変わります。上記スケジュールは、初回接種開始時に生後2か月から生後7か月未満のお子さまの接種方法です。

(※2) 四種混合を接種する場合、原則、三種混合及びポリオ(単独)を接種する必要はありません。

-  定期予防接種の対象年齢(接種可能な期間)
-  任意予防接種として接種が推奨される期間
-  日本脳炎特例対象者(H7.4.2~H19.4.1生)は20歳未満の間も接種可能
-  1歳未満は女性専用(1歳以上は女性専用)

<他の種類のワクチンを接種する場合の接種間隔>

※複数回接種する必要がある同一ワクチンの接種間隔は、それぞれのワクチンの規定に従って下さい。

